第79号
昭和40年10月20日
発行……吉原市役所
吉原市今泉43の1(電②3111)
編集……市長公室

よしわら

吉原市図書館 受 40.10.22 付 772

市民の動き (9月30日現在)
男……45,805
女……45,053
計……90,858
世帯数…20,489

東平遺跡発掘

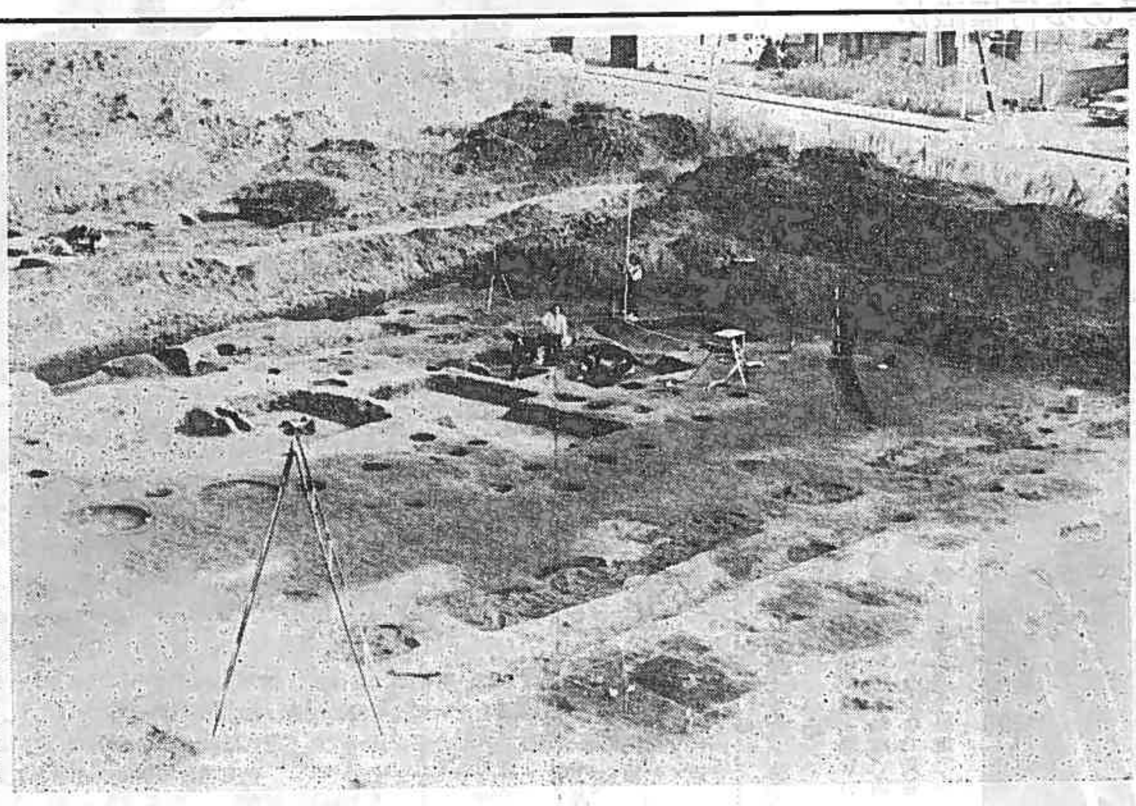
奈良平安時代のもの

日本一の規模を実証

私たちはよく長老の口から、「吉原は五千年も前からひらけていた——」と聞きます。それは、吉永地区に発見された古代の住居跡、原田地区の縄文式土器、須津地区の琴平古墳などで知ることができます。しかしもつとも知りたい、千五百年から千年以前の奈良、平安時代の先人の生活文化は、あまり解明されないいま今日にいたつてきています。

ところが、十数年前、伝法地区(別掲案内図)の畑にそれらしき時代の土器のカケラが発見され、郷土考古学者の注視を集めたのです。それが、いわゆる「東平遺跡」です。それいらいこの遺跡は、何回となく現場調査が行われてきたものですが、たまたま遺跡付近を東名高速道路が通過するため、急きょ発掘調査することになり、教育委員会が主管し、吉原一中中野国雄先生が主任となり、九月二十日から十月十日まで、延べ一二〇〇人を動員して発掘されました。

それでは、みなさんと私たちの先人の生活文化をみることにしましょう。



住居跡一〇一みつかる

東平遺跡は、東名高速道路が伝法町を通過するため道路公団が主体とり、県文化財保存協会、市教育委員会が協力して発掘調査がおこなわれたものです。

その結果一〇一個の住居跡が発見され、四十九個の長野県の平出遺跡をはるかにうわまわる日本一の集落であることが実証されました。

発掘は、一中、二中、吉高、吉工生徒など、一二〇〇人が協力しておこなわれましたが、これからは集落の形態、人員構造、生活様式が研究されるわけです。

矢じり・カマめのう玉も

発掘面積は、遺跡全体の約十分の一にあたる一六〇〇〇平方㍍で、六カ所に分けられています。別掲図のAからは一七個、Bから六個、Cから三一個、Dから一八個、Eから二〇個、Fから九個と計一〇一個の竪穴式住居跡が発掘されました。

そのほか建物では堀立柱建物八棟が発掘され、条里制に基づいた集落をつくっていたことがわかりました。

出土した遺物には、土師器(はじき)の長がめ、広口壺、坏(つき)、須恵器のふた付坏などがあり、奈良から平安時代初めの遺跡であることが、推定されたわけです。そのほか鉄製品の刀子(小刀)紡錘車、矢じり、カマや錫杖、めのう玉など一千点が発見されました。

竪穴式住居は、単独のものと重複しているものがあり、重複しているものは少なくて二つ、多いのは六つの重なりがみられますので四ないし五の時期があったと考えられ、建物の耐久年数を推定して一〇〇年間くらい集落を営なんでいたということです。また住居の数はまだ発掘されていないものを考え、一時期に二〇個から三〇個の竪穴式住居があつたと推定され、六〇人から一二〇人のひとが住活していたと考えられます

竪穴の様式は大きいものでたて七㍍よこ七㍍、小さいものはたて二㍍よこ二㍍で、規模は全体に小さく、五人から二人くらいのひとが生活したとみられます。

政治的につくられたもの

東平は海抜約三〇㍍のところにあり、火山灰土の乾燥したところですから、畑作主体の農村で、水は国狸の谷や三日市浅間社に汲みにいつたものと思われ、立地条件は悪く、すでに律令国家が成立されていたときですから、条里制に組みこまれたものと想像されます

また東平遺跡は、「日本書紀」にでてくる富士郡久武郷の一部で、定額寺の法照寺(三日市浅間神社にあつた)に租、庸、調の税を提供するために、政治的につくられた集落だつたとも考えられます。

歴史上からも貴重な資料

この東平遺跡が約一〇〇年の集落生活で終つているのは、住居跡からスコリヤ(火山砂)がでてくるところから、今から約一二〇〇年前の延暦一九年に富士山が大噴火したため、集落をすてたのではないかと思われます。

発掘主任の中野先生は「奈良平安時代の遺跡発掘数は少なく、いままで文献だけでしか判らなかつたものを、具体的に明らかにするということで、日本の歴史を解きあかすうえに、たいへん貴重な遺跡だと思います」

現在測量がおこなわれており、そのあと測量図、写真、遺物の整理が中野先生を中心におこなわれ、報告書がつくられるのに約二年予定されており、いまからその研究の成果が各方面から期待されています。

※租庸調=租は田地に対する税、庸は労力、調は地方の生物。

こちらは市役所です ⑩

総務課の巻

総務課は、本庁舎中央路の右側と、本庁舎西側建物内の一階に計算室が二階に分室(管財係、登記係)がそれぞれおかれ篠田忠雄課長以下四十一名です。

総務課といえば、まず財政……財政係、ここは国でいえば〃大蔵省〃にあたるところ。みなさんの大切な税金をもとに市の歳入、歳出の予算をたて、つねに収支のバランスをとり、いわば、おかあさん役の仕事をしています。

市役所庁舎や学校、また市民会館、図書館、体育館など市有財産の管理を行なつているのが管財係です。市有物には、車輌や電話などもあり、これらの管理も行なつています。

また、市有財産の登記は、登記係で行なつています。

自動車の増加にともない交通事故がたえないこのごろ、防災係では「吉原交通安全対策協議会」を設け、交通安全に関する仕事をしています。

その一環として、学校や幼稚園などで交通教室を開き、正しい道路の歩き方、正しい道路の渡り方など、交通規則の指導を行なつています。

また、消防団に関する仕事もこの係で行なつています。

計算係では、各課で出された市税や水道料、また職員の給与などの計算を、電子計算機によつて計算しています。またこの係では、タイプライターもうけもつています。

その他、事務関係の仕事をうけもつ庶務係に分かれています。この係では、市議会議案の作成をおもな仕事とし、各町内の嘱託員との連絡場所でもあります。

児童を守ろう―交通安全教室は防災係の仕事だ

くらしの便利帳

▽新しい歯ブラシ

新しい歯ブラシを買つたら、使うまえに熱湯につけて、さめるまで放つておきます。さめたらとり出してよくかわいてから使うと、消毒にもなるし、もちがよくなります。

▽魚のくさみ

魚つりに出かけた帰りに、魚やエサのくさみが手についていやなことがあります。そういうときには、酢を水にいれて洗うとほとんどとれます。お魚を料理したあとの手も同じことです。

市役所執務時間かわる

市役所の執務時間が十一月一日から、次のようにかわります。ご用の方は、お間違いのないようにお願いします。

⊙執務はじめ(平日)
午前8時45分
⊙執務おわり
午後4時30分
※土曜日は午前8時45分から正午まで。

みんなで義援金を

アグリガン島遭難家族に

十月七日台風二十九号のため、南太平洋アグリガン島付近の海域で遭難された本県漁船の行方不明二百余人の遺家族は、〃夫や子どもの生きて帰ることを信じつつ〃毎日不安な生活をおくつています。

ついては、市民の方で、この遺家族に愛の義援金を寄せられたい方は、十一月末日まで、福祉事務所で受け付けていますのでおしらせします。